

市電で広がるまちづくり

「中央区ガイド」でも市電を活用!!

中央区ガイドは、区内の地図、区の概要や歴史、災害時の避難場所や緊急連絡先などを掲載したものです。

ガイドの表紙には市電を活用しており、鈴木周作さんから提供を受けたイラストを使用しています。

区役所・区内まちづくりセンターなどで配布していますので、ご利用ください。



▼南1条通からは、大倉山を望むことができます



イラストレーター

すずき しゅうさく
鈴木 周作さん

鈴木さんは「路面電車の走る街で暮らしてみたい」という思いから、8年ほど前に札幌に移住し、藻岩山と大倉山や札幌の街並みを背景にした市電の絵などを多く描いています。

市電の会賛助会員でもあり、路面電車に対する情熱は人一倍です。



市電フェスティバルで市電を身近なものに



電車事業所および伏見小学校サブグラウンドにおいて、8月28日(日)に「市電フェスティバル」が開催されます。

これは、市電への愛着を深め、市電の将来を考えるきっかけとしてもらうとともに、地域の活性化を目指して行われているものです。

電車事業所内の施設見学や重さ約15トンの車両を引っ張る「市電と綱引き」(写真上)、サブグラウンドでは地域が主催するお祭りが行われるなど、市電を活用した催しが盛りだくさんです。

皆さんもぜひ足を運んでみてください。

(詳細) 交通局営業企画課
☎896-2706



交通局高速電車部運輸課電車業務係

ひらた としゆき
平田 俊之さん

昭和62年に入庁し、20年ほど市電の運転手をしていました。こんな大都市にも市電が走り、市民から愛されていることはすごいなと実感しました。

古くから親しまれている市電を、もっと多くの方に利用してもらうため、これからも安全運転で事故のないよう「止めない、遅らせない」という気持ちで運行させていきたいですね。

